

badri

gleki

catke

lacpu

barda

cmalu

bartu

nenri

cikna

sipna

cilre

ctuca

cirko

cpacu

lenku

glare

verba

makcu

mamta

patfu

nanmu

ninmu

nixli

nanla

nakni

fetsi

fanmo

krasi

stizu

jubme

linto

tilju

viska

tirna

pinxe

citka

cliva

penmi

prami

xebni

clani

tordu

solri

lunra

jarki

ganra

dunli

frica

$x_1$ は $x_2$ (対象本体)・ $x_3$ (対象箇所)を引く / 引っ張る	$x_1$ は $x_2$ (対象本体)・ $x_3$ (対象箇所)を押す	$x_1$ は $x_2$ (事)に関して嬉しい / 幸せ / 幸福 / 上機嫌	$x_1$ は $x_2$ (事)について悲しい / 落胆している; $x_2$ は $x_1$ を悲しませる
$x_1$ は $x_2$ の中(にある); $x_1$ は内部 / 内側; $x_2$ は $x_1$ を内蔵する	$x_1$ は $x_2$ の外 / 外部 / 外側	$x_1$ は $x_2$ (性質)に関して、 $x_3$ (比較対象)の中で小さい	$x_1$ は $x_2$ (性質)に関して、 $x_3$ (比較対象)の中で大きい
$x_1$ は $x_2$ (生徒 / 門下生)に $x_3$ (命題)・ $x_4$ (題目)を $x_5$ (方法)で教える	$x_1$ は $x_2$ (命題)・ $x_3$ (題目)を $x_4$ (情報源)から $x_5$ (方法)によって習う	$x_1$ は寝ている; $x_1$ は眠る	$x_1$ は目覚めている
$x_1$ は $x_2$ (基準)において熱い / 暖かい / 温い	$x_1$ は $x_2$ (基準)において冷たい / 涼しい	$x_1$ は $x_2$ (対象)を $x_3$ (起源)から入手する	$x_1$ は $x_2$ (物 / 者)を $x_3$ (所)で失う; $x_1$ は $x_2$ (性質)を $x_3$ (状況)で失う
$x_1$ は $x_2$ の父親	$x_1$ は $x_2$ の母親; $x_1$ は母性的	$x_1$ は $x_2$ (性質)に関して成熟している; $x_1$ は成人 / おとな	$x_1$ は $x_2$ (年齢)の、 $x_3$ (観点)での子供
$x_1$ は $x_2$ (年齢)・ $x_3$ (基準)の少年 / 未成熟の男	$x_1$ は $x_2$ (年齢)・ $x_3$ (基準)の少女 / 未成熟の女	$x_1$ は女(の人)	$x_1$ は男(の人)
$x_1$ (所 / 事)は $x_2$ (物 / 者 / 事)の起源 / 根源 / 発祥地	$x_1$ は $x_2$ (物 / 過程)の終わり	$x_1$ は $x_2$ (生物種)の、 $x_3$ (体現性質)に基づく女性 / 雌; $x_1$ は女性的	$x_1$ は $x_2$ (生物種)の、 $x_3$ (体現性質)に基づく男性 / 雄; $x_1$ は男性的
$x_1$ は $x_2$ (基準 / 観点)において重い	$x_1$ は $x_2$ (基準)において軽い / 軽量	$x_1$ は $x_2$ (素材)・ $x_3$ (脚 / 柱 / 台座)の机 / テーブル / 台	$x_1$ は椅子 / 腰掛 / ベンチ
$x_1$ は $x_2$ を食べる	$x_1$ は $x_2$ (液体)を $x_3$ (容器 / 起源)から飲む	$x_1$ は $x_2$ (対象音声)を $x_3$ (環境音声)にたいして聞く; $x_2$ が $x_1$ に聞こえる; $x_1$ には聴覚がある; $x_2$ は可聴音	$x_1$ は $x_2$ を $x_3$ (状態条件)のもと視覚する; $x_1$ には $x_2$ が見える; $x_1$ には視覚能力 / 光学的感知能力がある
$x_1$ は $x_2$ (物 / 者 / 事)を憎む; $x_1$ は $x_2$ にたいする怨恨を抱いている; $x_2$ は憎らしい	$x_1$ は $x_2$ を愛する / にたいして愛情が湧く	$x_1$ は $x_2$ に $x_3$ (所)で会う	$x_1$ は $x_2$ から $x_3$ (経路)によって離れる / 発つ / 別れる / 去る; $x_1$ は $x_2$ を残す
$x_1$ は地球の月; $x_1$ は $x_2$ の主要衛星	$x_1$ は $x_2$ (惑星)・ $x_3$ (惑星に住む種族)の太陽	$x_1$ は $x_2$ (方向)・ $x_3$ (尺度)に関して短い	$x_1$ は $x_2$ (次元 / 方向)・ $x_3$ (照合棒)において長い
$x_1$ は $x_2$ と、 $x_3$ (性質)に関して違う / 異なる	$x_1$ は $x_2$ と $x_3$ (性質)に関して同等	$x_1$ は $x_2$ (次元)・ $x_3$ (基準)において広い / 幅がある / ワイド	$x_1$ は $x_2$ (次元)・ $x_3$ (基準)において狭い

jmive

morsi

xamgu

xlali

menli

xadni

ruble

tsali

detri

tcika

betfu

birka

cutne

degji

flira

jamfu

kanla

kerfa

kerlo

moklu

nazbi

stedu

tuple

xance

bolci

cukla

linji

mokca

plita

blabi

blanu

crino

grusi

pelxu

skari

xekri

xunre

grute

spati

srasu

tricu

xrula

bitmu

drudi

loldi

dertu

tsani

tumla

$x_1$ は $x_2$ にとって、 $x_3$ (基準)で悪い / 粗末	$x_1$ は $x_2$ にとって、 $x_3$ (基準)で良い / 好ましい	$x_1$ は死んでいる / 生が無い	$x_1$ は $x_2$ (観点 / 基準)において生きている; $x_1$ は生物 / 生体 / 有機体
$x_1$ は $x_2$ (性質)に関して $x_3$ (観点)で強い	$x_1$ は $x_2$ (性質)・ $x_3$ (基準)において弱い / ひ弱 / 虚弱 / 微弱 / 華奢	$x_1$ は $x_2$ の肉体; $x_1$ は身体的	$x_1$ は $x_2$ (本体)の精神 / 心 / 悟性; $x_1$ は心的
$x_1$ は $x_2$ (本体)の腕	$x_1$ は $x_2$ (本体)の腹 / 胴部	$x_1$ (時 / 分 / 秒)は $x_2$ (事)の、 $x_3$ (日)・ $x_4$ (所)における時刻	$x_1$ (数)は $x_2$ (事)・ $x_3$ (所)・ $x_4$ (暦)の日付
$x_1$ は $x_2$ (本体)の足	$x_1$ は $x_2$ (本体)の顔; $x_1$ は表情的	$x_1$ は $x_2$ (本体)・ $x_3$ (箇所 / 肢)の指	$x_1$ は $x_2$ (本体)の胸 / 胸腔
$x_1$ は $x_2$ (本体)の口	$x_1$ は $x_2$ (本体)の耳 / 聴覚器官; $x_1$ は聴覚者	$x_1$ は $x_2$ (本体)・ $x_3$ (箇所)の毛 / 髪	$x_1$ は $x_2$ (本体)の目 / 眼 / 視覚器官; $x_1$ は視覚者
$x_1$ は $x_2$ (本体)の手	$x_1$ は $x_2$ (本体)の脚	$x_1$ は $x_2$ (本体)の頭 / 頭部	$x_1$ は $x_2$ (生体)・ $x_3$ (鼻腔)の鼻
$x_1$ は $x_2$ (時間 / 空間)における点; $x_1$ は0次元	$x_1$ は $x_2$ (点集合)の間の線	$x_1$ は(二次元的に)円い; $x_1$ は円 / ディスク	$x_1$ は $x_2$ (素材)の球体 / ボール; $x_1$ は丸い
$x_1$ は緑色	$x_1$ は青色	$x_1$ は白色	$x_1$ は $x_2$ (点の集合)による二次元の面(平面)
$x_1$ は黒色	$x_1$ は $x_2$ (色相)の、 $x_3$ (視覚者)にたいする、 $x_4$ (条件)における色	$x_1$ は黄色	$x_1$ は灰色 / グレー
$x_1$ は $x_2$ (種類)の草 / 草原 / 原っぱ	$x_1$ は $x_2$ (種類)の植物(草木 / 葉 / 花); $x_1$ は植物性	$x_1$ は $x_2$ (種類)の果実 / フルーツ	$x_1$ は赤色 / クリムゾン
$x_1$ は $x_2$ (本体)の屋根 / 天井 / 屋上 / 蓋	$x_1$ は $x_2$ ・ $x_3$ を隔てる、 $x_4$ (構造体)の壁 / 垣 / 塀 / フェンス	$x_1$ は $x_2$ (種類)の花	$x_1$ は $x_2$ (種類)の木 / 樹木 / 立ち木
$x_1$ は $x_2$ (位置)における陸 / 大地の広がり	$x_1$ は $x_2$ (所)の空 / 天空	$x_1$ は $x_2$ (所 / 起源)・ $x_3$ (成分)の土壌 / つち	$x_1$ は $x_2$ の床 / 底面

xamsi

berti

snanu

stici

stuna

cnita

crane

gapru

pritu

trixe

zunle

cerni

donri

nicte

vanci

crisa

critu

dunra

vensa

sanli

vreta

zutse

binxo

cmene

dasni

djacu

djuno

dunda

fagri

ganse

gunma

jbena

kakne

kelci

klama

kufra

lamji

manku

melbi

minji

mutce

namcu

nelci

pendo

pilno

remna

sisti

stali

$x_1$ は $x_2$ に対して $x_3$ (照合枠) における西方 / 西側	$x_1$ は $x_2$ に対して $x_3$ (照合枠) における南方 / 南側	$x_1$ は $x_2$ にたいして $x_3$ (照合枠) で北方 / 北側	$x_1$ は $x_2$ (領域 / 惑星)・ $x_3$ (液体成分)の海 / 海洋
$x_1$ は $x_2$ に対して $x_3$ (照合枠) における上方 / 上側	$x_1$ は $x_2$ (比較対象)・ $x_3$ (照合枠)の前方 / 前側	$x_1$ は $x_2$ に対して $x_3$ (照合枠) における下方 / 下側	$x_1$ は $x_2$ に対して $x_3$ (照合枠) における東方 / 東側
$x_1$ は $x_2$ (日)・ $x_3$ (所)の朝	$x_1$ は $x_2$ に対して $x_3$ (照合枠) における左方 / 左側	$x_1$ は $x_2$ に対して $x_3$ (照合枠) における後ろ / 後方 / 後側 / 裏側 / 背後 / リア	$x_1$ は $x_2$ に対して $x_3$ (照合枠) における右方 / 右側
$x_1$ は $x_2$ (年)・ $x_3$ (所)の夏季	$x_1$ は $x_2$ (日)・ $x_3$ (所)の夕方 / 夕暮れ / 晩	$x_1$ は $x_2$ (日)の $x_3$ (場所)における夜	$x_1$ は $x_2$ (日)・ $x_3$ (所)の昼間 / 日中; $x_1$ は昼行性
$x_1$ は $x_2$ (所)に $x_3$ (脚 / 支え) で立つ	$x_1$ は $x_2$ (年)・ $x_3$ (所)の春季	$x_1$ は $x_2$ (年)・ $x_3$ (所)の冬季	$x_1$ は $x_2$ (年)・ $x_3$ (所)の秋季
$x_1$ (文字列)は $x_2$ の、 $x_3$ (者)による名称; $x_3$ は $x_2$ を $x_1$ と呼ぶ; $x_2$ は $x_1$ と呼ばれている	$x_1$ は $x_2$ に $x_3$ (条件)の下で成る / 変身する	$x_1$ は $x_2$ (表面)に座る / 着席する	$x_1$ は $x_2$ に寄り掛かる / もたれる / 横たわる
$x_1$ は $x_2$ を $x_3$ (者)に与える / 贈る / 授ける	$x_1$ は $x_2$ (命題)・ $x_3$ (題目)を $x_4$ (認識体系)で知る	$x_1$ は水; $x_1$ は水溶性 / 含水の	$x_1$ は $x_2$ を $x_3$ (着用様式)で着ている / 履いている / 被っている / 身に付けている
$x_1$ は $x_2$ (産主)による $x_3$ (日時)・ $x_4$ (所)の生まれである; $x_2$ は $x_1$ の産みの親	$x_1$ は $x_2$ (要素)からなる群 / 団	$x_1$ (者)は $x_2$ (性質)を $x_3$ (手段)によって、 $x_4$ (環境条件)のもと感知 / 感得する / 感じ取る; $x_1$ は $x_2$ にたいして敏感 / センシティブ	$x_1$ は $x_2$ (燃料)・ $x_3$ (酸化料)による火 / 炎
$x_1$ は $x_2$ (環境性質)について快適 / 心地良さを感じる	$x_1$ は $x_2$ (終点)に $x_3$ (起点)から $x_4$ (経路)を $x_5$ (方法)で行く / 来る	$x_1$ は $x_2$ (道具 / 方法)で遊ぶ	$x_1$ は $x_2$ (事)が $x_3$ (条件)においてできる; $x_1$ は有能
$x_1$ は $x_2$ (機能 / 用途)の機械	$x_1$ は $x_2$ (審美者)にとって $x_3$ (性質)・ $x_4$ (審美基準)において美しい / 綺麗 / 麗しい / ハンサム / かわいい	$x_1$ は暗い / 闇	$x_1$ は $x_2$ に、 $x_3$ (並列特性)・ $x_4$ (並列方向)で隣接する / 隣り合う; $x_1$ は $x_2$ の隣
$x_1$ (者)は $x_2$ (者)の友人; $x_1$ は $x_2$ にたいして友好的	$x_1$ は $x_2$ (物 / 事)を好む / 好き / 気に入っている	$x_1$ は数 / 量 / 値	$x_1$ は $x_2$ (性質)に関して、 $x_3$ (極性)に対して凄い; $x_1$ はとても $x_2$
$x_1$ は $x_2$ (場 / 性質 / 状態)に留まる	$x_1$ (者)は $x_2$ (動作 / 過程 / 状態)をやめる / 中止 / 終了する	$x_1$ は生物学的ヒト / ホモサピエンス	$x_1$ は $x_2$ (道具 / 機械 / 者)を $x_3$ (目的)のために使う / 用いる

tavla

dizlo

galtu

balvi

purci

clira

lerci

kalci

pinca

bajra

cadzu

srera

drani

bersa

tixnu

ciska

tcidu

rigni

pluka

zenba

jdika

zmadu

mleca

jalge

cfari

bangu

bridi

cmavo

gerna

gismu

jufra

lujvo

rafsi

sumti

tanru

valsi

gapci

litki

sligu

baktu

botpi

kabri

lante

palta

patxu

tanxe

vasru

bloti

$x_1$ は $x_2$ よりも未来 / 後発; $x_1$ は後者; $x_2$ は前者	$x_1$ は $x_2$ (照合枠)・ $x_3$ (基点)において高い	$x_1$ は $x_2$ (照合枠)・ $x_3$ (基点)において低い	$x_1$ (者)は $x_2$ (者)に $x_3$ (題目)について $x_4$ (言語)で話す / 語る
$x_1$ は $x_2$ (生体)の糞 / 排泄物	$x_1$ (事)は $x_2$ (基準)において時期的 / 時刻的に遅い	$x_1$ (事)は $x_2$ (照合枠)において早い	$x_1$ は $x_2$ (時点)よりも以前 / 過去; $x_1$ は先人
$x_1$ は $x_2$ (事)に関して、 $x_3$ (条件)・ $x_4$ (基準)で誤る / 間違ふ	$x_1$ は $x_2$ (表面)を $x_3$ (肢)で歩く	$x_1$ は $x_2$ (表面)を $x_3$ (肢)・ $x_4$ (調子)で走る	$x_1$ は $x_2$ (生体)の尿
$x_1$ は $x_2$ (文字列)を $x_3$ (媒体)に $x_4$ (道具)で書く	$x_1$ は $x_2$ (親)の娘	$x_1$ は $x_2$ (親)の息子	$x_1$ は $x_2$ (性質)に関して $x_3$ (状況)のとき $x_4$ (基準)において正しい / 正確 / 適宜
$x_1$ は $x_2$ (性質 / 数量)に関して $x_3$ (度合)だけ増える	$x_1$ (事)は $x_2$ にとって、 $x_3$ (条件)のもと快い / 心地良い	$x_1$ は $x_2$ (者)にとって $x_3$ (条件)において不快 / 不愉快 / いまわしい / 吐き気をもよおさせる; $x_2$ は $x_1$ に愛想を尽かす / 嫌悪感を覚える	$x_1$ は $x_2$ (文字列)を $x_3$ (表面 / 書物)から読む
$x_1$ (事)は $x_2$ (事)の結果 / 結末; $x_2$ は $x_1$ に終結する	$x_1$ は $x_2$ よりも、 $x_3$ (性質)に関して $x_4$ (数量)ほど劣る / 少ない	$x_1$ は $x_2$ よりも、 $x_3$ (性質 / 数量)の点で、 $x_4$ (度合)ほど優る / $x_3$ が $x_1$ には $x_2$ よりももつとある	$x_1$ は $x_2$ (性質)に関して $x_3$ (数量)ほど減る
$x_1$ (文字列)は $x_2$ (品詞)・ $x_3$ (意味 / 機能)・ $x_4$ (言語)の機能語	$x_1$ (du'u)は $x_2$ (関係)を $x_3$ (項の列 / 集合)について賓述を表す関係性 / 命題	$x_1$ は $x_2$ (使用者)が $x_3$ (概念 / 命題 / 文字列)を表すのに用いる言語; $x_2$ は $x_1$ 語を話す	$x_1$ (事 / 状態)は始まる / 開始する
$x_1$ (文字列)は $x_2$ (意味)・ $x_3$ (項)を有する、 $x_4$ (形態素)から作られた合成語・複合語	$x_1$ (文字列)は $x_2$ (題目)の、 $x_3$ (言語)における文	$x_1$ (文字列)は $x_2$ (意味関係)を $x_3$ (項)について表す、 $x_4$ (形態素)からなる語根	$x_1$ は $x_2$ (言語)の $x_3$ (性質)に関する文法
$x_1$ は $x_2$ (意味 / 効力)を有する、 $x_3$ (言語)の言葉 / 語彙	$x_1$ は、 $x_2$ が $x_3$ を修飾し、 $x_4$ を意味する、使用法 / 例文 $x_5$ における複合語	$x_1$ は $x_2$ (述語 / 関数)の場所 $x_3$ (種類 / 番号)を占める項	$x_1$ (文字列)は $x_2$ (語)の $x_3$ (部位 / 性質)に由来する、 $x_4$ (言語)の形態素 / 語基 / 語幹 / 接辞
$x_1$ は $x_2$ (内容)・ $x_3$ (素材)のバケツ / 桶 / 槽	$x_1$ は $x_2$ (成分 / 物質)の $x_3$ (条件)における固体	$x_1$ は $x_2$ (成分 / 物質)の、 $x_3$ (条件)における液体 / 流動体	$x_1$ は $x_2$ (成分)・ $x_3$ (条件)の気体 / ガス
$x_1$ は $x_2$ (素材)の皿	$x_1$ は $x_2$ (生鮮物)を詰めた、 $x_3$ (素材)の缶容器	$x_1$ は $x_2$ (内容)・ $x_3$ (素材)のコップ / カップ / タンブラー / マグ / 茶碗 / 杯	$x_1$ は $x_2$ (内容)・ $x_3$ (素材)・ $x_4$ (栓 / 蓋)の瓶 / ボトル / 水筒
$x_1$ は $x_2$ (客 / 荷)・ $x_3$ (原動力)の船 / ボート	$x_1$ は $x_2$ を内を含む / 包む; $x_1$ は $x_2$ の容器	$x_1$ は $x_2$ (内容)・ $x_3$ (素材)の箱 / カートン	$x_1$ は $x_2$ (内容)・ $x_3$ (素材)の壺 / 鉢 / かめ / やかん / ポット

karce

marce

trene

vinji

briju

ckule

dinju

gusta

zarci

zdani

stuzi

zvati

gasnu

zuke

krinu

mukti

nibli

rinka

dargu

klaji

lalxu

rirxe

cidja

nanba

sanmi

catlu

zgana

cikre

cortu

cukta

cusku

cuxna

danlu

denpa

dirba

djica

gugde

jgari

kumfa

lebna

lojbo

lumci

muvdu

pelji

pensi

pixra

pleji

prenu

$x_1$ は $x_2$ (荷 / 乗客)・ $x_3$ (原動力)の飛行機 / 航空機 / 飛行船	$x_1$ は車両 $x_2$ (群れ)・線路網 / 軌道 $x_3$ ・原動力 $x_4$ の列車 / 鉄道 / 電車 / 汽車 / 地下鉄	$x_1$ は $x_2$ を $x_3$ (媒体)・ $x_4$ (原動力)で運ぶ輸送機関 / 乗物	$x_1$ は $x_2$ (客 / 荷)・ $x_3$ (原動力)の車
$x_1$ は $x_2$ (飲み物 / 食べ物)を $x_3$ (客)に提供する飲食店 / レストラン / カフェテリア	$x_1$ は $x_2$ (目的)のための建造物	$x_1$ は $x_2$ (所)で $x_3$ (科目)を $x_4$ (聴衆)に教える、 $x_5$ (者)によって営まれている教育機関 / 学習施設	$x_1$ は $x_2$ (従業員)・ $x_3$ (所)の職場 / 事務所 / 営業所 / 局
$x_1$ (物 / 事)が $x_2$ (事 / 所)に居る / 在る	$x_1$ は $x_2$ (物 / 事)の本質的 / 恒久的な場所 / 現場	$x_1$ は $x_2$ の(ための)巣 / 家 / ねぐら / アジト	$x_1$ は $x_2$ (取引品)・ $x_3$ (営者)の店 / 市場
$x_1$ (事)は $x_2$ (事)を $x_3$ (者)に動機する; $x_3$ は $x_1$ に鼓舞されて $x_2$ をする	$x_1$ (事)は $x_2$ (事)を許容する理由	$x_1$ は $x_2$ (行動内容)を $x_3$ (目的 / 目標)のために行為 / 実行する	$x_1$ (者)は $x_2$ (事)をする
$x_1$ は $x_2$ (所)における、 $x_3$ につながる街路 / 通り / 回廊	$x_1$ は $x_2$ (終点)・ $x_3$ (起点)・ $x_4$ (経路)の道路 / 車道	$x_1$ (事)は $x_2$ (事)を $x_3$ (条件)において引き起こす	$x_1$ は $x_2$ (事)を $x_3$ (法則 / 論理 / 体系)において余儀なく含意する / もたらす; $x_1$ によって $x_2$ は絶対 / まちがいなく起こる
$x_1$ は $x_2$ (種類 / 原料 / 穀物)のパン	$x_1$ は $x_2$ (摂食者)のための食べ物 / 食糧 / 餌; $x_1$ は $x_2$ に栄養価を与える; $x_1$ は食用	$x_1$ は $x_2$ (土地)の $x_3$ (流域)が $x_4$ (河口)に流れる河川	$x_1$ は $x_2$ (所)の湖 / 池 / 水たまり
$x_1$ は $x_2$ を $x_3$ (使用)のために修理 / 修復 / 修繕する / 直す	$x_1$ は $x_2$ (対象)を $x_3$ (方法)・ $x_4$ (条件)で観察 / 観賞 / 鑑賞する	$x_1$ は $x_2$ を見る / 見つめる / 見入る	$x_1$ (群)は $x_2$ (品 / コース)の食事 / ごはん
$x_1$ は $x_2$ (選択肢)を $x_3$ (集合)から選ぶ	$x_1$ (者)は $x_2$ (内容)を $x_3$ (聴衆)に $x_4$ (媒体)で表す / 言う / 表現する	$x_1$ は $x_2$ (内容)・ $x_3$ (著者)・ $x_4$ (読者)・ $x_5$ (媒体)の本 / 文献	$x_1$ (者)は $x_2$ (箇所)に痛みを感じる; $x_2$ が痛い
$x_1$ は $x_2$ (事)を $x_3$ (目的)のために欲する / 求める; $x_1$ は $x_3$ (目的)のために $x_2$ (事)という欲求を満たしたい	$x_1$ は $x_2$ (者)にとって貴重 / あいらしい / 大切	$x_1$ は $x_2$ (事)を $x_3$ (状態)ながら待つ、 $x_4$ (事)の開始以前 / 再開以前に	$x_1$ は $x_2$ (種類)の動物
$x_1$ は $x_2$ (物 / 性質)を $x_3$ (者)から取る / 得る / 奪う / 盗む / 取り除く / 没収 / 着服する	$x_1$ は $x_2$ (構造)内の $x_3$ (壁 / 天井 / 床)で仕切られた部屋 / 室	$x_1$ は $x_2$ (対象本体)・ $x_4$ (対象箇所)を $x_3$ ( $x_1$ の部分)で掴む / 握る	$x_1$ は $x_2$ (要素 / 成員)・ $x_3$ (領域)の国
$x_1$ は $x_2$ (資源)の紙	$x_1$ (物)は $x_2$ (終点)に $x_3$ (始点)から $x_4$ (経路)にわたって動く; $x_1$ は動的	$x_1$ は $x_2$ の汚れ $x_3$ を洗剤 / 用具 $x_4$ で洗う	$x_1$ は $x_2$ (性質面)に関してロジバン系
$x_1$ は(心理学上の)人; $x_1$ は人格を有する	$x_1$ は $x_2$ (金 / 報酬)を $x_3$ (者)に $x_4$ (対価 / 商品 / サービス)のために支払う	$x_1$ は $x_2$ (主題)・ $x_3$ (作者)・ $x_4$ (媒体)の絵 / 画 / 写真 / 造形; $x_3$ は $x_2$ を描いて $x_1$ を創る	$x_1$ は $x_2$ (概念)について思慮する / 考慮する / 熟考する / 思いを巡らす; $x_2$ は考え深い

rirni

skapi

troci

vecnu

vitke

zgike

zasti

xanri

bilma

kanro

cilmo

sudga

darno

jibni

fliba

snada

citno

laldo

ckiku

stela

ganlo

kalri

cnino

slabu

pluja

sampu

kunti

culno

xendo

kusru

cacra

djedi

jeftu

masti

mentu

nanca

snidu

temci

cisma

ckasu

cmila

cpina

kurki

slari

titla

finti

zbasu

terpa

$x_1$ (売り手)は $x_2$ (品物やサービス)を $x_3$ (買い手)に $x_4$ の額 / 費用 / 出費で売る	$x_1$ は $x_2$ (事 / 状態 / 性質)を $x_3$ (手段 / 方法)で達成 / 獲得しようと努める / 努力する; $x_1$ は $x_2$ をやってみる	$x_1$ は $x_2$ (起源)の(特に動物性の)革 / 皮膚 / 肌	$x_1$ は $x_2$ の育ての親 / 保護者 / 保育者 / 養育者; $x_1$ は $x_2$ を育てる
$x_1$ は $x_2$ (者)による想像; $x_1$ は架空 / 想像上のもの / 非現実	$x_1$ は $x_2$ (観点)・ $x_3$ (認識体系)において実在する	$x_1$ は $x_2$ に演奏 / 制作される音楽	$x_1$ は $x_2$ (者)・ $x_3$ (所 / 事)の客; $x_1$ は $x_2$ ・ $x_3$ を訪れる
$x_1$ は $x_2$ (液体)を欠いて乾燥している / 乾いている	$x_1$ は $x_2$ (液体)で湿っている / 濡れている / じめじめしている; $x_1$ はしけている	$x_1$ は $x_2$ (基準)において健康 / すこやか	$x_1$ は $x_2$ (症状)の $x_3$ (病)を患っている
$x_1$ (者)は $x_2$ (成果)を $x_3$ (努力 / 試み)によって達成する / 成功させる	$x_1$ は $x_2$ (事)に失敗する; $x_1$ は $x_2$ を怠る	$x_1$ は $x_2$ に、 $x_3$ (性質)に関して近い / 近似	$x_1$ は $x_2$ から $x_3$ (性質)に関して遠い
$x_1$ は $x_2$ を $x_3$ (仕組)で封じる錠 / ロック	$x_1$ は $x_2$ (錠)・ $x_3$ (特性)の鍵	$x_1$ は $x_2$ (基準)において古い / 高齢 / 年寄り	$x_1$ は $x_2$ (基準)において若い
$x_1$ は $x_2$ (者)にとって $x_3$ (性質)の点で $x_4$ (観点)から判断してなじみがある	$x_1$ は $x_2$ (者)にとって、 $x_3$ (性質)・ $x_4$ (基準)に関して新しい	$x_1$ は $x_2$ (通り抜けた先)へ $x_3$ (通り抜けるもの)にとって開いている	$x_1$ は $x_2$ (到達されないもの / 所)にたいして $x_3$ (通過を妨げられているもの)にとって閉まっている; $x_1$ は $x_3$ が $x_2$ へ達することを妨げる
$x_1$ は $x_2$ で充溢 / 充満している	$x_1$ は $x_2$ (内容)が無い; $x_1$ は空っぽ	$x_1$ は $x_2$ (性質)に関して簡単 / 単純	$x_1$ は $x_2$ (性質)が $x_3$ (基準)において複雑 / 煩雑
$x_1$ は $x_2$ (数)・ $x_3$ (基準)の満日	$x_1$ の継続時間は $x_2$ (数)時間、 $x_3$ (基準)で; $x_1$ は $x_2$ (数)時間かかる	$x_1$ (者)は $x_2$ にたいして酷い / 意地悪 / 不親切	$x_1$ (者)は $x_2$ にたいして $x_3$ (行為)で親切 / 優しい
$x_1$ は $x_2$ (数(初期設定では1年))年間、 $x_3$ (基準)で継続する; $x_1$ は年次	$x_1$ は $x_2$ (数)分の時間間隔、 $x_3$ (基準)において	$x_1$ は $x_2$ (数)・ $x_3$ (暦)の月	$x_1$ は $x_2$ (数)・ $x_3$ (基準)の週
$x_1$ は $x_2$ (者)を $x_3$ (事 / 性質)について $x_4$ (行為)で嘲る / 笑いものにする / ばかにする / ひやかす	$x_1$ はほほえむ / にやつく	$x_1$ は $x_2$ (時点)から $x_3$ (時点)までの間隔 / 経過 / 時間	$x_1$ は $x_2$ (数量)の、 $x_3$ (基準)における秒
$x_1$ は $x_2$ (者)にとってすっぱい	$x_1$ は $x_2$ (者)にたいして苦い / ビター	$x_1$ は $x_2$ (味覚者)にとってからい / スパイシー	$x_1$ は笑う / 笑い声をあげる
$x_1$ は $x_2$ を恐れる / 怖がる / に怯える; $x_2$ は $x_1$ をぎよつとさせる / 脅す	$x_1$ は $x_2$ を $x_3$ (素材)から造る / 作る / 工作する	$x_1$ は $x_2$ を $x_3$ (目的 / 機能)のために $x_4$ (既存要素)から創る / 発明する / 著する; $x_1$ は創作的	$x_1$ は $x_2$ にとって甘い

xanka

cinri

trina

xajmi

zdile

benji

bevri

mrilu

cpedu

pikci

cmima

girzu

lanzu

jorne

lasna

cenba

galfi

grake

mitre

xampo

darxi

daspo

gunta

janli

porpi

xrani

curmi

fraxu

cpana

pencu

punji

sefta

banro

cabna

cafne

canci

ciblu

citsi

claxu

cmana

facki

farna

finpe

grana

jatna

jdini

jinsa

junla

$x_1$ は $x_2$ (観察者)にとって $x_3$ (性質)の点で滑稽 / おどけている	$x_1$ は $x_2$ を $x_3$ (性質)で誘惑する; $x_1$ は $x_2$ にとって魅力的	$x_1$ (事)は $x_2$ の関心を惹く; $x_2$ は $x_1$ に関心がある	$x_1$ は $x_2$ について $x_3$ の条件下で心配する / 不安
$x_1$ は $x_2$ (郵便物 / 手紙 / Eメール)を $x_3$ (終点)に $x_4$ (始点)から $x_5$ (ネットワーク / システム)によって送達する	$x_1$ は $x_2$ (荷)を $x_3$ (終点)に $x_4$ (始点)から $x_5$ (道筋)を通して運ぶ	$x_1$ は $x_2$ を $x_3$ (受け手)に $x_4$ (起源 / 送信元)から $x_5$ (方法 / 媒体)によって送る / 届ける	$x_1$ (事)は $x_2$ にとって $x_3$ (性質)についておもしろい / 楽しい; $x_2$ は $x_1$ を楽しむ
$x_1$ は $x_2$ (共通性質)・ $x_3$ (集合)・ $x_4$ (関係)の組 / チーム	$x_1$ は $x_2$ (集合)の成員 / メンバー; $x_1$ は $x_2$ に属する	$x_1$ は $x_2$ (者)に $x_3$ (事 / 物)を請う / せがむ / 懇願する / 嘆願する	$x_1$ は $x_2$ (事)を $x_3$ (者)に $x_4$ (態度 / 方法)で頼む
$x_1$ は $x_2$ (性質)に関して $x_3$ (数量 / 度数)ほど $x_4$ (環境条件)において変化 / 変質 / 変身する / 変わる	$x_1$ (者)は $x_2$ を $x_3$ に $x_4$ (留め具)で留める / つなげる / くっつける / 縛る	$x_1$ は $x_2$ (対象本体)と、 $x_3$ (対象箇所)において結合 / 接続している; $x_1$ と $x_2$ は結束している	$x_1$ (群)は $x_2$ (成員)の、 $x_3$ (基準)において結ばれている家族 / 部族
$x_1$ は $x_2$ (数)・ $x_3$ (基準)のアンペア	$x_1$ は $x_2$ (数量)・ $x_3$ (方向)・ $x_4$ (基準)のメートル; $x_1$ は $x_2$ メートル	$x_1$ は $x_2$ (数)・ $x_3$ (基準)のグラム	$x_1$ は $x_2$ を $x_3$ に改変する / 変える
$x_1$ は $x_2$ に衝突 / 激突する / ぶつかる	$x_1$ は $x_2$ を $x_3$ (目的)のために攻撃 / 侵攻する	$x_1$ (事)は $x_2$ を破壊する / 破滅させる / 倒す; $x_1$ は破壊的	$x_1$ は $x_2$ を、 $x_3$ (道具など)が $x_4$ にぶつかる形で打つ / 叩く
$x_1$ は $x_2$ を $x_3$ (事)について許す / 容赦する	$x_1$ (者)は $x_2$ (事)を $x_3$ (条件)において許容 / 許可する	$x_1$ (事)は $x_2$ (対象)に、 $x_3$ (性質)に関して $x_4$ (損傷 / ダメージ)を与える; $x_1$ は $x_2$ を傷つける / 傷める / 損害する	$x_1$ は碎けて / 壊れて $x_2$ (破片)になる
$x_1$ は $x_2$ (もの)・ $x_3$ (側)・ $x_4$ (境)の表面	$x_1$ は $x_2$ を $x_3$ (所)に置く / 設置する	$x_1$ は $x_2$ に、 $x_3$ が $x_4$ に接する形で触る	$x_1$ は $x_2$ (表面)の上に(置いて / 立って)在る、 $x_3$ (観点)で
$x_1$ は地点 $x_2$ において感覚器 / センサー $x_3$ の視界から消える	$x_1$ (事)は $x_2$ (基準)において頻繁 / しよつちゅう / 頻発する / よくある	$x_1$ は $x_2$ と同時; $x_1$ は現在 / 今	$x_1$ は $x_2$ (結果)に $x_3$ (始原)から育つ / 育成する / 成長する
$x_1$ は $x_2$ から突き出ている山	$x_1$ は $x_2$ を欠く; $x_1$ は $x_2$ 無し	$x_1$ は $x_2$ (性質 / 周期特性)・ $x_3$ (年)の季節	$x_1$ は $x_2$ (生体)の血 / 血液
$x_1$ は $x_2$ (素材)の杖 / さお / ステッキ / ロッド	$x_1$ は $x_2$ (種類)の魚	$x_1$ は $x_2$ (物 / 事)・ $x_3$ (照合棒)の向き / 方向 / 方角; $x_3$ から観て $x_2$ は $x_1$ のほうにある	$x_1$ は $x_2$ (命題)を $x_3$ (題目)について発見する; $x_1$ は $x_3$ (物)を見つける / 探し当てる
$x_1$ は $x_2$ (時間単位)を $x_3$ (精度)・ $x_4$ (方法)で計測する時計 / 計時器具	$x_1$ は $x_2$ (汚れ)を $x_3$ (観点)において持っていない; $x_1$ は汚れていない / 清らか	$x_1$ は $x_2$ (発行源)のお金; $x_1$ は金融	$x_1$ は $x_2$ (活動領域 / 権限範囲)における指揮者 / 指導者 / 首領 / 長 / リーダー / キャプテン

kampu

kansa

kecti

klaku

lakne

limna

liste

misno

nitcu

pacna

ponse

ranji

renro

renvi

senva

serti

sidju

speni

stapa

tcana

tcima

tunta

vorme

jimpe

masno

sutra

frili

nandu

condi

caxno

bruna

mensi

preti

danfu

snura

ckape

macnu

zmiku

jinru

fulta

zifre

bilga

rarna

rutni

sirji

korcu

bakni

banfi

$x_1$ は $x_2$ (涙)・ $x_3$ (理由)で泣く	$x_1$ は $x_2$ を $x_3$ (事)について哀れむ / 慈しむ / かわいそうだと思う; $x_1$ は慈悲的	$x_1$ は $x_2$ に、 $x_3$ (事)において伴う / 付き添う; $x_1$ と $x_2$ は一緒	$x_1$ (性質)は $x_2$ (集合)の間で普遍 / 一般的; $x_1$ は普通
$x_1$ (人 / 物 / 事)は $x_2$ (群)の間で有名	$x_1$ は $x_2$ (集合)を $x_3$ (序列)で $x_4$ (媒体)に表した目録 / カタログ / リスト / 一覧 / 名簿 / ログ	$x_1$ は $x_2$ (液体)中を泳ぐ / 水泳する	$x_1$ (事)は $x_2$ (条件)でありうる / 起こりうる / 蓋然的
$x_1$ (事 / 性質)は $x_2$ (時間 / 期間)にわたって継続する / 続く	$x_1$ は $x_2$ を $x_3$ (法 / 慣習)のもと所有する	$x_1$ は $x_2$ (事)を $x_3$ (見込み / 確率 0-1)で期待する / 希望する / 願う; $x_2$ は望まれている	$x_1$ は $x_2$ を $x_3$ (目的 / 行動)のために要する; $x_2$ が $x_1$ には必要
$x_1$ は $x_2$ (構造)・ $x_3$ (段数)の階段	$x_1$ は $x_2$ (事)を夢見る; $x_2$ は夢想 / 幻想	$x_1$ は $x_2$ (事)を $x_3$ (時間 / 期間)にわたって耐え抜く / 辛抱する / 我慢する; $x_1$ は長持ちする	$x_1$ は $x_2$ を $x_3$ (方向)に投げる
$x_1$ は $x_2$ (交通 / コミュニケーション / 配給のネットワーク)の駅 / 局 / ノード	$x_1$ は $x_2$ を $x_3$ で踏む	$x_1$ は $x_2$ と結婚している / の配偶者、 $x_3$ (法律 / 規則 / 慣習)のもと	$x_1$ は $x_2$ (者)を $x_3$ (行動 / 事)に関して助ける
$x_1$ は $x_2$ (命題)を $x_3$ (題目)について理解する; $x_1$ は $x_3$ がわかる	$x_1$ は $x_2$ ・ $x_3$ 間の、 $x_4$ (構造体)の扉 / 戸口 / 出入口 / 門戸 / ドア	$x_1$ (物)は $x_2$ を刺す / 突く / 突き刺す / つつく; $x_2$ は $x_1$ に刺される	$x_1$ は $x_2$ (所 / 地域)の気象 / 気候 / 天候 / 天気
$x_1$ は $x_2$ にとって、 $x_3$ (条件)のもと難しい / 難関	$x_1$ (事)は $x_2$ (者)にとって $x_3$ (条件)において簡単 / 容易; $x_2$ は $x_1$ をた易くこなす	$x_1$ は $x_2$ (動作 / 事)に関して速い / すばやい / 敏速 / 俊敏	$x_1$ は $x_2$ (事)に関して速度的に遅い / のろい / もたもたする
$x_1$ は $x_2$ と、 $x_3$ (血縁)によって姉妹関係にある; $x_1$ は $x_2$ の姉 / 妹	$x_1$ は $x_2$ の、 $x_3$ (血縁関係)による兄 / 弟	$x_1$ は $x_2$ (方向 / 性質)に関して $x_3$ (照合枠)・ $x_4$ (基準)で浅い / 浅はか / 薄い	$x_1$ は $x_2$ (性質 / 方向)に関して $x_3$ (照合枠)・ $x_4$ (標準)において深い
$x_1$ は $x_2$ にとって $x_3$ (条件)において危険; $x_1$ はおっかない	$x_1$ は $x_2$ (事 / 危険)にたいして安全	$x_1$ は $x_2$ (質問 / 問題)に対する解答 / 回答 / 返答	$x_1$ (文字列)は $x_2$ (題目)に関する、 $x_3$ (者)から $x_4$ (者)への質問 / 質疑
$x_1$ は $x_2$ (気体 / 液体)に浮かぶ; $x_1$ は浮遊物	$x_1$ は $x_2$ に漬かる / 浸かる / 沈む / 潜る	$x_1$ は $x_2$ (機能)に関して $x_3$ (条件)で自動	$x_1$ (事象)は機能 $x_2$ に関して $x_3$ の条件下で手動(自動ではない)
$x_1$ は民族 $x_2$ が作った / 生み出した人工物 / 人為的な物	$x_1$ は自然 / 天然 / 本能的 / 自発的	$x_1$ は $x_2$ (行為)を $x_3$ (協定 / 契約 / 常識)のために遂行する義務を負っている; $x_1$ は $x_2$ をしなければならない	$x_1$ は自由である、 $x_2$ (事 / 状態)になることにおいて、 $x_3$ という条件で
$x_1$ は $x_2$ (種類)の両生綱 / 両生類動物	$x_1$ は $x_2$ (種類)のウシ属動物	$x_1$ は曲がっている / 歪んでいる / ねじれている	$x_1$ は $x_2$ ・ $x_3$ の間でまっすぐ / 直線的 / 直接的

cinki

cipni

curnu

gerku

mabru

mlatu

respa

birje

ckafi

jikru

jisra

ladru

tcati

vanju

sance

savru

voksa

birti

krici

morji

senpi

smadi

bende

cecmu

klesi

ckini

srana

jitro

minde

sazri

tinbe

bunre

narju

zirpu

simlu

simsa

simxu

jenmi

pulji

sonci

ckana

kicne

matci

cinba

gletu

broda

brode

brodi

$x_1$ は $x_2$ (種類)のイヌ科動物 (オオカミ / イエイヌ / コヨーテ / ジャッカル / リカオン / タヌキ / キツネ等)	$x_1$ は $x_2$ (種類)の無脊椎動物 (ミミズ / クラゲ / イカ等)	$x_1$ は $x_2$ (種類)のトリ綱(ダチョウ / キジ / カモ / カッコウ / オウム / ツバメ / フクロウ / ハト / ツル / コウノトリ / ペリカン / フラミンゴ / ペンギン…目)	$x_1$ は $x_2$ (種類)の昆虫綱(甲虫 / チョウ / ハエ / ハチ / カメムシ / バッタ / トンボ…目)
$x_1$ は $x_2$ (起源)の発泡酒 / ビール / エール	$x_1$ は $x_2$ (種類)の爬虫綱 / 爬虫類(カメ / トカゲ / ヘビ / ワニ)	$x_1$ は $x_2$ (種類)のネコ科動物 (チーター / イエネコ / ヤマネコ / ヒョウ / ピューマ等)	$x_1$ は $x_2$ (種類)の哺乳綱動物
$x_1$ は $x_2$ (起源)のミルク / 牛乳; $x_1$ は乳性 / 酪農の	$x_1$ は $x_2$ (原料 / 種類)の汁 / ジュース	$x_1$ は $x_2$ (原料)の蒸留から出来た酒 / アルコール飲料	$x_1$ は $x_2$ (種類)のコーヒー
$x_1$ は $x_2$ (者)・ $x_3$ (知覚体系)にたいする騒音 / ノイズ	$x_1$ は $x_2$ が発する音; $x_2$ は音がする	$x_1$ は $x_2$ (果物成分)のワイン / 葡萄酒	$x_1$ は $x_2$ (葉 / 原料)の茶 / 紅茶 / 緑茶
$x_1$ は $x_2$ (命題)を $x_3$ (題目)について思い出す / 回想する	$x_1$ は $x_2$ (命題)を $x_3$ (題目)について信じる	$x_1$ は $x_2$ (命題)が真であると確信している	$x_1$ は $x_2$ (本体)の声
$x_1$ は $x_2$ (有機体)の共同体 / 社会 / コミュニティ / 群落 / 集団営巣地 / 植民地	$x_1$ は $x_2$ (者達)・ $x_3$ (引率者)からなる、 $x_4$ (目的)のための仲間 / チーム / 乗組員 / バンド / 班	$x_1$ は $x_2$ (命題)を、 $x_3$ (題目)について推測する	$x_1$ は $x_2$ (命題)の真実性を疑う; $x_2$ は信憑性に欠ける
$x_1$ は $x_2$ を $x_3$ (動作 / 事)に関して制御 / 指揮 / 引率する	$x_1$ は $x_2$ に関連する / 関係がある	$x_1$ は $x_2$ と $x_3$ (関係性)によって繋がりがあがる / 同系	$x_1$ は $x_2$ (上位の枠組)・ $x_3$ (特質)の部門 / カテゴリー / クラス / 組 / 派 / 種類 / タイプ
$x_1$ は茶色 / 黄褐色 / 小麦色	$x_1$ は $x_2$ (命令 / 規則)・ $x_3$ (発令者)に服従する / 従う / 従順	$x_1$ は $x_2$ を $x_3$ (目的)のために操作する	$x_1$ は $x_2$ (者)に $x_3$ (事)が起こるよう / を行うよう命令 / 指令 / 指図する
$x_1$ は $x_2$ に、 $x_3$ (性質)の点で似ている / 相似的; $x_1$ は $x_2$ のよう	$x_1$ は $x_2$ (性質)であるよう $x_3$ (者)に $x_4$ (状態条件)の下で見受けられる; $x_1$ は $x_2$ らしい気が $x_3$ にする	$x_1$ は紫色 / パープル	$x_1$ は橙色 / オレンジ色
$x_1$ は $x_2$ (隊)の戦士 / 兵士 / 闘士	$x_1$ は $x_2$ (法 / 治安)を守る警察(官)	$x_1$ (群)は $x_2$ (群 / 共同体)に奉仕する、 $x_3$ (機動特性)の軍隊	$x_1$ (集合)は $x_2$ (事 / 性質)の点で相互的 / 共通し合っている
$x_1$ は $x_2$ (対象本体)・ $x_3$ (対象箇所)にキス / 接吻 / くちづけする	$x_1$ は $x_2$ (素材)の敷物 / マット / むしろ / ごぎ / たたみ	$x_1$ は $x_2$ のための、 $x_3$ (素材)のクッション / 座布団; $x_1$ は $x_2$ を $x_3$ で緩衝する	$x_1$ は $x_2$ (素材)の、 $x_3$ (者 / 物 / 事)を支えるための寝台 / ベッド
代ブリディその3[ $x_1$ を始めとするPS全体が文脈次第]	代ブリディその2[ $x_1$ を始めとするPS全体が文脈次第]	代ブリディその1[ $x_1$ を始めとするPS全体が文脈次第]	$x_1$ は $x_2$ と性交 / 交尾 / セックスする

brodo

brodu

creka

cutci

dakli

daski

gluta

kosta

mapku

palku

pastu

skaci

smoka

taxfu

bancu

bapli

canko

catra

cedra

cifnu

cinmo

cipra

ckire

clite

ctino

cumki

cupra

dicra

fadni

fange

fanza

fendi

fengu

funca

gacri

galxe

gusni

jinga

jipno

jivna

judri

jukpa

kacma

kagni

karni

kevna

klani

lafti

$x_1$ は $x_2$ (足 / ひづめ)を覆う / 守るための $x_3$ (素材)の靴	$x_1$ は $x_2$ (素材)の上着 / トップス	代ブリディその5[ $x_1$ を始めとするPS全体が文脈次第]	代ブリディその4[ $x_1$ を始めとするPS全体が文脈次第]
$x_1$ は $x_2$ (素材)のコート / ジャケット / マント	$x_1$ は材質 $x_2$ の手袋 / グローブ / ミトン	$x_1$ は $x_2$ (物)のためのポケット / ポーチ / 小物入れ	$x_1$ は $x_2$ (内容)・ $x_3$ (素材)の靴 / バッグ / リュックサック
$x_1$ は $x_2$ (素材)のスカート / キルト	$x_1$ は $x_2$ (素材)のガウン / 長衣	$x_1$ は $x_2$ (素材)のズボン / スラックス / パンツ(女性用)	$x_1$ は $x_2$ (素材)の帽子 / 冠 / 兜 / ヘルメット
$x_1$ (性質 / 力)は $x_2$ (事)を引き起こす / もたらす	$x_1$ は $x_2$ (境界 / 限度)を $x_3$ (照合点)について $x_4$ (性質 / 数量)だけ越している / 超えている	$x_1$ は $x_2$ (身体部分 / 性別 / 種族)・ $x_3$ (目的 / 機能)の衣服 / 服飾	$x_1$ は $x_2$ (素材)の靴下 / ストッキング / タイツ
$x_1$ は $x_2$ (生物種)の幼児 / 赤ちゃん	$x_1$ は $x_2$ (事 / 物 / 性質 / 間隔)を特徴とする時代 / 時期 / 年代	$x_1$ は $x_2$ を $x_3$ (動作 / 方法)で殺す	$x_1$ は $x_2$ (壁 / 建物 / 構造)の窓 / 門 / 入口 / 出口 / 玄関
$x_1$ は $x_2$ (事)に際し、 $x_3$ (照合枠)において礼儀正しい / 行儀が良い	$x_1$ (者)は $x_2$ (者)に $x_3$ (事 / 性質)を感謝する; $x_2$ が $x_3$ をしたことについて $x_1$ はありがたく思う; $x_3$ であることはありがたい	$x_1$ (過程 / 事)は $x_2$ (性質)を $x_3$ について確かめる試験 / 実験 / テスト	$x_1$ は $x_2$ (感情)を $x_3$ について覚える; $x_1$ は感情的 / ムードに浸っている
$x_1$ (事)は $x_2$ (物 / 事)を $x_3$ (妨害性質)によって阻止 / 中断 / 妨害する	$x_1$ は $x_2$ (物)を $x_3$ (過程)によって生産 / 産出 / 製造する	$x_1$ (事)は $x_2$ (条件)においてありえる / 可能; $x_1$ は可能性	$x_1$ は $x_2$ (物)・ $x_3$ (光)の陰 / 影
$x_1$ (者)は $x_2$ を $x_3$ (部分 / 個)に $x_4$ (方法 / 区分)によって分ける	$x_1$ (事)は $x_2$ の気に障る / をいらいらさせる; $x_2$ は $x_1$ で苛つく; $x_1$ は邪魔	$x_1$ は $x_2$ にたいして $x_3$ (性質)の点で異質 / 外来 / 別世界的 / 風変わり	$x_1$ は $x_2$ (性質)・ $x_3$ (集合)において平凡 / 通常 / 普通
$x_1$ は $x_2$ (本体)の喉 / 咽喉 / 食道	$x_1$ は $x_2$ の覆い / 蓋 / カバー; $x_1$ は $x_2$ に被さっている	$x_1$ (事 / 性質)は $x_2$ の運; $x_1$ はまぐれ / めぐり合わせ	$x_1$ は $x_2$ (者)にたいして $x_3$ (事 / 性質)について憤慨している / 怒っている
$x_1$ は $x_2$ と $x_3$ (事)に関して $x_4$ (利益)を競う / 競合する / 試合する	$x_1$ は $x_2$ (本体)の部位 $x_3$ にある先端 / 先っぽ / 頂点	$x_1$ は $x_2$ (利益)を $x_3$ (競合相手 / 敗者)から $x_4$ (試合)において勝ち取る; $x_1$ は $x_3$ に勝利する; $x_3$ は $x_1$ に敗北する	$x_1$ (エネルギー)は $x_2$ (対象)を $x_3$ (光源)に基づいて照らす光; $x_3$ は $x_2$ を $x_1$ で照らす
$x_1$ は $x_2$ (権限)・ $x_3$ (目的)の会社 / 企業	$x_1$ は $x_2$ (光学的対象)を $x_3$ (媒体)に記録するカメラ	$x_1$ は $x_2$ (完成品)に $x_3$ (方法)で料理する	$x_1$ は $x_2$ の、 $x_3$ (体系)における住所 / 宛先
$x_1$ (力)は $x_2$ (対象本体)・ $x_3$ (対象箇所)を $x_4$ (重力)に対して持ち上げる / 拾う / すくう	$x_1$ は $x_2$ (数)を測定値として $x_3$ (尺度 / 概念)について測定された量	$x_1$ は $x_2$ の穴; $x_2$ は $x_1$ (箇所)において貫通している	$x_1$ は $x_2$ (内容)・ $x_3$ (出版者)・ $x_4$ (読者)の刊行物 / 雑誌 / 新聞

larcu

lazni

lerfu

lidne

lifri

livla

manci

midju

mintu

mipri

munje

nabmi

pemci

pinsi

platu

plipe

ralju

rapli

rectu

sanga

sarcu

sinma

skami

skicu

sovda

spofu

sruri

tatpi

tcena

tcita

vacri

vajni

vasxu

vimcu

vindu

xabju

xagji

xenru

zekri

$x_1$ は $x_2$ を、 $x_3$ (序列)において 先行する / 先立つ / 率先する; $x_2$ は $x_1$ に続く; $x_1$ は前者; $x_2$ は後者	$x_1$ は $x_2$ (文字体系)において $x_3$ を表す字(文字 / 数字)	$x_1$ (者)は $x_2$ (動作 / 仕事 / 努 力 / 事)に関して怠惰 / 怠け る; $x_1$ は $x_2$ を怠る	$x_1$ (創作物 / 創作過程)は $x_2$ (芸術様式 / 芸術流派)の実践 / 応用; $x_1$ は芸術的
$x_1$ は $x_2$ の中央 / 中心 / 中枢 / 真ん中	$x_1$ は $x_2$ に畏敬の念を感じる / 驚嘆する; $x_1$ は $x_2$ を摩訶不思 議に思う	$x_1$ は $x_2$ のための燃料	$x_1$ (者 / 事)は $x_2$ (事)を経験す る; $x_2$ に $x_1$ は見舞われる; $x_2$ は経験的 / 実験上 / 実証可 能
$x_1$ (事)は $x_2$ が遭遇した、 $x_3$ (状況 / 課業)における問題; $x_1$ は $x_2$ に熟考を要する	$x_1$ は $x_2$ (領域 / 分野)・ $x_3$ (法 則・原理)の世界	$x_1$ は $x_2$ を $x_3$ から、 $x_4$ (方法) によって匿う / 隠す / 秘密に する	$x_1$ は $x_2$ と、 $x_3$ (基準)において 同種
$x_1$ (者 / 物)は $x_2$ (終点)に $x_3$ (起点)から $x_4$ (高さ)ほど $x_5$ (動力)によって跳躍 / ジャンプ する	$x_1$ (者)は $x_2$ (物 / 事)を $x_3$ (事)のために計画 / 設計 / デ ザインする / 企てる	$x_1$ は芯 / 先端 $x_2$ (材質)・支持 部 $x_3$ (材質)の鉛筆 / クレヨン / 筆	$x_1$ は $x_2$ (特徴)・ $x_3$ (作者)・ $x_4$ (読者)の詩
$x_1$ は $x_2$ (音楽)を $x_3$ (聴衆)に 歌う / 詠唱する	$x_1$ は $x_2$ (生体)の肉	$x_1$ (動作)は $x_2$ (回数)にわたっ て繰り返す / 循環 / 反復する	$x_1$ は $x_2$ (集合)・ $x_3$ (性質)にお いて主要 / 大本
$x_1$ (者)は $x_2$ (物 / 事 / 状態) を $x_3$ (者)に $x_4$ (表現 / 文字 列)によって描写 / 叙述する	$x_1$ は $x_2$ (目的 / 機能)のコン ピュータ	$x_1$ は $x_2$ を尊重・尊敬する; $x_2$ は尊い	$x_1$ (抽象)は $x_2$ (状態 / 過程) のために $x_3$ (条件)のもと必須 / 欠かせない
$x_1$ は $x_2$ (事)によって疲労 / 疲 弊している / 疲れている	$x_1$ は $x_2$ を $x_3$ (方向 / 次元 / 面)に関して包囲する / 取り囲 む	$x_1$ は $x_2$ (機能)に関して故障し ている / 使用不可能	$x_1$ は $x_2$ (生体)の卵 / 卵子 / 花粉 / 配偶子
$x_1$ (物 / 事)は $x_2$ (人 / 事)に とって、 $x_3$ (性質 / 理由)に関し て重要 / 大事	$x_1$ は $x_2$ (領域 / 惑星)・ $x_3$ (成 分)の空気 / 大気	$x_1$ は $x_2$ の $x_3$ (情報)を表す札 / タグ	$x_1$ は $x_2$ (範囲)にわたり $x_3$ (次 元)において $x_4$ (通常の範囲) から伸びる / 拡張する
$x_1$ は $x_2$ (所)に住む / 暮らす / 棲息 / 生息する	$x_1$ は $x_2$ にとって毒 / 中毒性 がある	$x_1$ は $x_2$ を $x_3$ から、 $x_4$ だけ残 して除去 / 控除する / 差し引 く	$x_1$ は $x_2$ (気体)を吸う / 吐く
	$x_1$ (事)は $x_2$ (観点)にとって犯 罪	$x_1$ は $x_2$ (事)を後悔する; $x_1$ は $x_2$ を残念に思う	$x_1$ は $x_2$ に飢える; $x_1$ は腹をす かしている / おなかがへっている; $x_1$ は $x_2$ (燃料 / 栄養)の補 充を必要としている